

# 公益社団法人 上伊那教育会 第3回 総会

期日：令和4年10月17日（月） 会場：上伊那教育会館講堂

- 1 開会
- 2 上伊那教育会の歌「仰望」
- 3 会長挨拶
- 4 報告
  - (1) 信濃教育会常任委員会 報告
  - (2) 信濃教育会臨時総会 報告
  - (3) 信濃教育会総集会 上高井大会 報告
  - (4) 県内教育関係機関研修 報告・反省
- 5 協議
  - (1) 教育会各事業の中間報告
  - (2) 公益社団法人認定10周年記念事業について
  - (3) 上伊那教育会総研修会「仰望の日」の反省
  - (4) 少年の塔周辺整備作業・少年の塔慰霊祭の反省
- 7 諸連絡
- 8 閉会の言葉



感染対策のため出席者に制限を設け総会を行ってきましたが、3年ぶりに全代議員が参集する形での開催ができました。ご出席いただいた代議員の皆様、ありがとうございました。

## 浦山哲雄会長 挨拶

今回は令和2年1月以来、約3年ぶりに全代議員の皆様にお集まりいただき、第3回総会を開催できますことを嬉しく思います。ご多用の中、ご参集いただきありがとうございます。

さて、教育会の諸事業は、コロナ禍により夏休み体験スクールはやむなく中止としましたが、それ以外はオンラインや縮小など様々に対応しながら全て実施して参りました。

特に7月末、三大研修の一つである「夏期講習会」は、長年講師を務めていただいた秋富克哉先生、最後のご指導となりました。反省に「講師の先生と一緒に話をしてくださった時は、話し合いが活発になった。ズームではこんなに話すことができなかつたと思う。対面で実施することができて本当によかった」という言葉もありましたが、秋富先生が涙を流して語られる場面もあり、この最後の年に直接ご指導をいただけたことは、私たちにとって大きな宝物となりました。

今後ですが、11月26日（土）に公益社団法人認定10周年記念事業を計画させていただきました。10周年という節目に、公益社団法人化への思いを知ることは、これからの上伊那教育会を担っていただく先生方にとっても大きな意味をもつと思っております。ご協力をお願いいたします。

来年度の上伊那総研修会「仰望の日」についても、お話しさせていただきます。期日は6月7日（水）です。例年より3週間遅くなりますが、これは伊那文化会館が工事のため、5月いっぱい使用できないことによるものです。本年度の「仰望の日」は参集での開催を目指しましたが、コロナの状況で4月末にオンラインによる開催に変更しました。しかし、このオンライン開催は昨年度もそうですが、コロナの状況による緊急避難的なものであります。来年度は期日をずらしてでも、全会員が参集しての総研修会「仰望の日」にしたいと考えています。

6月の上伊那教育の未来を語る会で講師をしていただいた加藤敬一先生は「幸せに生きるには、人と人がつながること」とおっしゃいました。先日の教育課程研究協議会で、朝に休憩時間に笑顔で挨拶を交わす先生方、午後のカリキュラム研究分科会で、隣の人と話していただきとなった瞬間、パッと笑顔になり語り合う先生方、私たち教職員のそのつながりあう笑顔が、子どもたちの笑顔につながっていく、そう考えています。

総研修会は、教育会会員としてのつながりや一体感を感じ、今年一年教育会の様々な事業に参加して、互いに学び合い自分を磨こうという意識を高めていく場であると思います。みんなが一堂に会することの意味がそこにあるのです。ぜひ、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、再任用フルの先生方の会費についてです。本年度より再任用フルの先生方の会費を、従来の、給与の1000分の8から1000分の5に減額しました。再任用となり給与も下がることから、会費を少しでも減らすことによって加入しやすい状況を作りたいという思いからです。しかし、4月から減額されていないことがこの度わかり、調査した結果、システム上の不備が発覚しました。規程以上の金額を徴収してしまった再任用の先生方に深くお詫び申し上げます。大変申し訳ありませんでした。いただき過ぎました分については、10月25日の校長会でお返しできるよう準備を進めております。2度とこのようなことが起きませんよう留意してまいりますので、代議員の先生方からもその旨お伝え願えればと思います。よろしくをお願いいたします。

それでは、本日の総会よろしく申し上げます。

(要旨)

## 報 告

- (1) 信濃教育会常任委員会 報告 【浦山会長】  
令和4年度全県研究大会の推進について報告がありました。
- (2) 信濃教育会臨時総会 報告 【赤羽常任委員】  
臨時総会の報告ならびに武田会長のご挨拶が紹介されました。
- (3) 信濃教育会総集會 上高井大会 報告 【原副会長】  
上高井大会の様子、来年度の方向について報告がありました。
- (4) 県内教育関係機関研修 報告・反省 【塚田常任委員】  
研修視察ならびに報告・座談会について報告がありました。

## 協 議

- (1) 教育会各事業の中間報告 【山崎・赤羽・島尻・小池・土橋 各常任委員、飯澤専務理事】  
①職能研修事業 ②児童生徒育成事業 ③郷土研究事業 ④不動産貸与事業、会員共済事業  
⑤運営・広報事業  
各事業の実施状況について、それぞれの担当者から中間報告がありました。
- (2) 公益社団法人認定10周年記念事業について 【土橋常任委員】  
11月26日(土)に開催する記念事業について説明がありました。
- (3) 上伊那教育会総研修会「仰望の日」の反省 【小野幹事長】  
オンライン開催となった今年度の成果と反省、来年度の方向について発言がありました。
- (4) 少年の塔周辺整備作業・少年の塔慰霊祭の反省 【小野幹事長】  
整備作業の反省と御礼、少年の塔慰霊祭の報告と反省について発言がありました。

## 連 絡

- (1) 新型コロナウイルス対応ガイドラインの変更について 【浦山会長】
- (2) 文学講演会について 【金井幹事】
- (3) 令和5年度に向けた上伊那教育会諸事業の改善・充実に関する意見・要望等について 【北島幹事】
- (4) 人権教育実践事例集について 【山崎常任委員】
- (5) 次回総会協議内容について 【小野幹事長】

## 原浩範副会長 閉会の言葉

本日、教育会事業の中間報告をさせていただきました。実際に参集して実施できた事業、オンライン配信を利用して実施した事業などありますが、夏休み中の東部講習会・夏休み体験スクール以外の研修や事業につきましては、計画したほぼ全てを実施することができました。コロナの影響もあり、地域一般からの参加はご遠慮いただくこともありましたが、多くの会員の皆様に参加いただき、成果を上げることができました。夏期講習会では、事前に行われた4回の読み合わせ会も含め、若い先生方が多く参加し、グループごとに活発な討議がされました。「善の研究」の叙述を具体の子どもたちの姿に置き換えて話し合いましたが、顔を突き合わせて語り合うことの意味を改めて感じさせていただくと同時に、本年度のテーマ「共に集い 共に学び続ける」。そのような教師としての具体の姿を見ることができました。代議員の皆様のお声かけ、また会員の皆様の積極的な参画のおかげと感謝申し上げます。なお、これまで25年間にわたり私たちを導いてくださいました、講師の秋富克哉先生ですが、本年度が最後のご指導になりました。来年度からは、松本啓二郎先生がその後を引き継いでくださることになりましたので、お伝えします。

教育会事業もいよいよ後半に入ります。これから文学講演会や哲学講演会、信濃教育会との共催による信州教師塾Bなどが実施される予定になっております。感染防止対策を取りながら実施してまいりますので、多くの会員の皆様に参加いただけますよう、代議員の先生方からのお声掛けをよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和4年度上伊那教育会第3回総会を終わります。

(要旨)

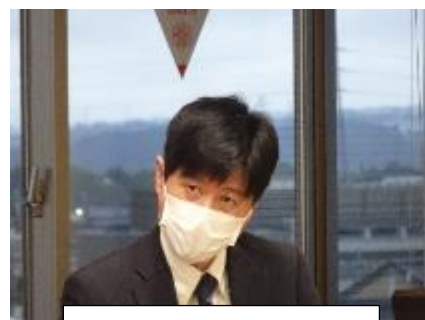
## 総会の様子



浦山哲雄 会長



各校代議員の皆様



土橋浩一郎 常任委員



島尻理恵子 常任委員



各校代議員の皆様



原浩範 副会長